



車いす体験を行う翁島小学校の児童

児童が障がいについて理解深める

障がい理解研修

共生社会の実現に向けて障がいについての理解を深める「障がい理解研修」は1月21日、翁島小学校で行われました。研修では、9歳の時に下半身不随となって以来、車いす生活を送っている中嶋涼子さんが講師を務め、オンラインで行われました。中嶋さんは「車いすでは少しだけできないことがあります、みんなの気持ちや行動でできないこと（バリア）をなくす、心のバリアフリーを広げることができます」と話しました。

薬剤混合装置などを装備

水槽付き消防ポンプ車を更新

猪苗代消防署の水槽付き消防ポンプ車お披露目式は12月16日、同署で行われました。老朽化に伴う更新によるもので、新たに配備された車両には薬剤と水を混ぜ合わせて同時に放水できる薬剤混合装置を装備。薬剤を混合した水溶液を使用することで水のみでの放水よりも燃焼物に水が浸透しやすくなり、従来より少ない放水での消火が可能になっています。また、車両には10本分のホースを収納できるホースカーなどが備えられています。



猪苗代消防署に新たに配備された水槽付き消防ポンプ車

補助金の適正な執行を

町補助金等適正化委員会審議結果答申

町補助金等適正化委員会の齋藤憲郎委員長と緑川昭彦副委員長は12月22日、町の令和3年度補助金等の諮問に対する答申書を前後公町長に提出しました。齋藤委員長は「新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、より厳しい財政運営が予想されるため、これまで以上に適正な補助金執行に努めてください」と意見を述べました。前後町長は「答申内容を令和3年度予算や今度の補助金等の適正な執行に反映します」と話しました。



答申書を提出する齋藤委員長（中央）と緑川副委員長（右）

町政発展と町民の幸せを願い

町シルバー人材センターが町に門松を贈呈

町シルバー人材センターは12月24日、町に手作りの門松を寄贈しました。町シルバー人材センターでは、町政発展と町民の幸せを願い、毎年門松を寄贈しており、今回で20回目となりました。門松は、会員の佐藤正巳さんと由井唯二さんが中心となって制作しました。

贈呈式は同日、町役場で行われ、佐藤智昭理事長が前後公町長に門松を贈りました。



門松を寄贈した佐藤理事長（右から1人目）ら



指定管理者の候補者を点検評価する委員ら

指定管理者の候補者を点検評価

公社等外郭団体点検評価委員会を開催

町公社等外郭団体点検評価委員会は1月20日、町役場で開かれました。同委員会は、学識経験者や企業経営に精通している7人で構成され、公の施設の指定管理について、公募によらない選定を行う場合に開催されます。今回は、「町防災センター」など41施設の運営状況を審議し、指定管理者の候補者の団体や法人の点検評価を行いました。審議結果は長谷川与一委員長名で町へ報告された後、町議会の議決を経て最終決定されます。

長年の献血活動に感謝状

日赤県支部長感謝状伝達式

日本赤十字社県支部長感謝状伝達式は12月21日、町役場で行われ、前後公町長が銀枠感謝状を受けた会津よつば農業協同組合猪苗代中央支店の土屋吉人支店長に感謝状を手渡しました。銀枠感謝状は、5年以上にわたって献血事業に協力し、献血の推進や啓発活動に功績があった団体などに贈られます。

前後町長は「今後も献血活動にご協力をお願いします」とあいさつを述べました。



前後町長から感謝状の伝達を受けた土屋支店長（右）



距離フリー男子10㌦を制した小鮎選手

雪上で熱い戦い

第73回県総体スキー競技会が開かれる

第73回県総合体育大会スキー競技は1月17日から21日まで、町クロスカントリーコースと猪苗代スキー場ミネロで開かれました。

大会には県内の高校生や大学生など多くの選手が出場し、雪上で熱い戦いを繰り広げました。

21日の距離フリー男子10㌦では、会津工業高校3年の小鮎響暉選手（猪苗代中出身）が2年ぶり3度目の頂点に立ちました。

食を通じた健康づくりを表彰

食生活改善事業関係受賞報告

食生活改善事業に功労のあった優良な地区組織に贈られる栄養関係功労者厚生労働大臣表彰（地区組織）を受賞した町食生活改善推進委員会の高橋洋子会長と食生活改善の普及向上に努めた人に贈られる会津地区食生活改善推進連絡協議会長表彰を受けた同会の本多光子さんと小林真由美さんは12月18日、町役場を訪れ、前後公町長に受賞を報告しました。前後町長は「町民の模範となるよう今後もご協力をお願いします」とあいさつを述べました。



（左から）前後町長、高橋会長、本多さん、小林さん